

公開講演会

ルソーというプリズムを通して

ー 今日のその政治的利用

(Au prisme de Rousseau: usages politiques contemporains)

(フランス語・入場無料・通訳あり)

日時：2011年7月7日(木) 18:20~20:00

場所：立教大学池袋キャンパス 12号館地下1階 第1・第2会議室

(<http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campusmap/>)

講師：セリーヌ・スペクトール

(Céline Spector)

略歴：現在、ボルドー大学准教授。18世紀フランスの政治思想、道徳思想、政治経済学を対象に目覚ましい研究成果をあげている研究者で、モンテスキューやルソーの政治思想、経済思想研究では既に第一人者と目されているのみならず、近年ではその関心対象を現代政治思想にまで広げている。主要著作に、『モンテスキュー - 自由、法と歴史』、『モンテスキュー - 権力、富と社会』、『権力』、『モンテスキュー - 「ペルシア人の手紙』、『モンテスキュー用語辞典』、『ルソー、戦争の法の原理：永久平和論』(共編著)などがある。本公演では、近く刊行の予定されている同タイトルのルソー受容史をもとに、ルソーと現代政治思想との複雑な関係について論じていただく。

問合わせ先：立教大学文学部文学科フランス文学専修

Tel: 03-3985-2530 (人文科学系事務室内)

桑瀬章二郎 skuwase@rikkyo.ac.jp